

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330332064	幼児教育指導法 Teaching Method of Children Education	田村佳世	✓	専門	2	必修	3後期

科目の概要

DP③に記載している保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格を生かして人々の日常生活を子育ての面から支援することができる人材に不可欠な専門的知識・技能を身に付けている保育者の育成を目指します。
 保育における具体的な指導では、10年間の保育所保育士として勤めた経験を活かし、場面指導や子ども理解に関する講義・演習を行います。
 特にこの科目では、5領域の内容を理解し、具体的に指導計画について学ぶ中で、子どもへの言葉かけや、保育者の援助、環境構成の重要性などを習得する。様々な教育法について知ることで、玩具や教材の役割を知る。これまでに学んだ様々な内容から、実際に指導案を立て、子どもたちの社会性や学びの基本を育てられるように学修する。そして模擬保育や実習で実践できるようにする。

学修内容	到達目標
① 今まで学んできた5領域の保育内容を振り返り、幼児教育の基本的内容について学修する。 ② 模擬保育を通して、サークルタイム・構成遊び・机上の遊び・役割遊びなどの知識や技術を学修する。 ③ 指導案の書き方を理解し、何を書けばよいか具体的に学修する。 ④ テーマを持った体験保育の実践について学ぶ ⑤ 今求められている子ども主体の教育について考察する	① 5領域の保育内容並びに全体構造を理解でき、それを活用し課題の解決をする。 ② 年齢に応じたサークルタイム・構成遊び・机上の遊び・役割遊びの内容を調べ習得することができる。 ③ 指導計画の根拠や意義を知り、指導案を作成する力を身につけ、問題点を発見し改善する努力ができる。 ④ ESDやSDGzから導き出す保育の実際の提案や、収集した情報を使い活用し、創造し、工夫できる。 ⑤ ドキュメンテーションの利用やプロジェクト型保育を知り子ども主体の保育について説明することができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例
---------------------	----------------------------

前に踏み出す力	主体性	予習課題・発表準備における該当課題について自発的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	履修済みの科目、実習、文献、インターネットなどを活用して、広く具体的な情報を得るために、粘り強く、強い意志をもって取り組み続けることができる。
考え抜く力	課題発見力	授業内容や発表における疑問点や自分に不足している知識または技能を認識して、情報収集や分析を行ったり、課題を明らかにするために他者の意見を積極的に求めたりすることができる。
	計画力	
	創造力	授業において修得した知識および技能をもとに、実習や保育者としての自分の姿を想定して、新たな保育観や保育方法を考えたり、探求することができる。
チームで働く力	発信力	授業の目標を達成するための知識・技能について、分かりやすく整理してまとめたことをノートや指導案に記述(図表含む)することができ、相手に分かるように説明したり、自分が話そうとすることを十分に理解して話す、発表することができる。
	傾聴力	グループワーク等を通して学生間で意見交換をし、相手の意見を正確に理解したり、疑問について質問をしたりすることができる。また相槌や共感等を示すことで相手の意見を引き出すコメントができたり、自分に対する意見においても素直に聞き、受け止めることができる。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	授業ルール(学修態度、課題の期日を守った提出等)の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

保育所保育指針
既習のテキスト等

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「幼児教育指導法」は「保育の内容・方法に関する科目」で、「保育内容総論」等から「こども表現(図画工作B)」に関連する科目である。
 資格との関連：保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・予習・復習学習を行い、積極的に講義に参加すること。 ・自分が目指す保育者としての将来像をもって授業に参加すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者を目指す学生として相応しい服装、態度、言葉遣いで授業に参加すること。 ・課題等は期限を守って提出すること。 ・無断欠席をしないこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート		50	①		✓	・発達、場面に合った保育環境を考え、指導案の作成、評価・反省ができる。 他グループの模擬保育に参加・観察して保育実践について学びを深めることができる。
					②		✓	
					③		✓	
					④		✓	
					⑤		✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		40	①	✓	・手作りの保育教材を使ってプレゼンテーションを行う。 ・発達、場面に合った保育環境を考えて、指導案を基に模擬保育を行う。準備、役割分担等グループで協力して行う。			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性） 予習課題・発表準備における該当課題について積極的に取り組むことができる。 （実行力） 困難があっても、粘り強く、強い意志をもって最後までやり切ることができる。 （課題発見力） 事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を明確にすることができる。 （創造力） 課題に対して固定概念にとらわれることなく、既習内容などから総合的に考えることができる。 （発信力） 具体例を用いて相手に分かるように説明したり、自分が話そうとすることを十分に整理して話す、発表することができる。 （傾聴力） 相槌や共感等を示すことで相手の意見を引き出すコミュニケーションができ、自分に対する意見においても素直に聞き、受け止めることができる。 （規律性） 授業ルール（学修態度、課題の期日を守った提出等）の必要性、重要性を理解し、遵守することができる。			
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
			⑤	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>様々な指導法を知ることができ、習得した知識や技術をアイデアを持って活用することができる。 作成した指導案に基づいて、模擬保育をおこなうことができる。 模擬保育を振り返り、その良い点と改善すべき点を的確に記述することができる。 ルールをしっかりと守って、意欲的に授業に臨むことができる。</p>	<p>様々な指導法を知り、自ら調べることができる。 模擬保育をおこなうことができる。 模擬保育を振り返り、良い点と改善すべき点を記述することができる。 私語等をしないで授業を受けていた。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	第1回「保育の原理と保育内容総論」 ・保育とは何か ・保育の基本と保育の構造 ・保育内容の歴史と保育内容の記録と乳幼児(子ども)の理解 について学び、説明、計画、実践できるようになることを目的とする。	講義 グループワーク classroomにて授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業の目的と内容について理解できる。 授業ノートに授業内容をまとめることができる。 課題を期日までに提出することができる。	PCRシートを活用する 予習：classroomの授業資料「第1回」を読み、写してくる。 復習：classroomの授業資料「第1回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 発信力 傾聴力
2	第2回「健康の内容と指導法」 ・幼稚園教育要領にみる健康領域の変遷 ・3法令同時改訂が示す道筋 ・幼児教育における「健康」領域の位置づけ ・健康領域の指導法 について学び、説明、計画、実践できるようになることを目的とする。	講義 グループワーク classroomにて授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業の目的と内容について理解できる。 授業ノートに授業内容をまとめることができる。 課題を期日までに提出することができる。	PCRシートを活用する 予習：classroomの授業資料「第2回」を読み、写してくる。 復習：classroomの授業資料「第2回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
3	第3回「人間関係の内容と指導法Ⅰ」 ・乳児の人間関係 ・1歳以上3歳未満児の人間関係 ・3歳以上児の人間関係 ・特別な配慮を必要とする子どもとの関わり ・子どもへの対応を考える について学び、説明、計画、実践できるようになることを目的とする。	講義 グループワーク classroomにて授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業の目的と内容について理解できる。 授業ノートに授業内容をまとめることができる。 課題を期日までに提出することができる。	PCRシートを活用する 予習：classroomの授業資料「第3回」を読み、写してくる。 復習：classroomの授業資料「第3回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
4	第4回「人間関係の内容と指導法Ⅱ」 ・領域「人間関係」の「ねらい及び内容」 ・道徳性の芽生えと基本的な生活習慣の形成 ・規範意識の芽生えと遊びのルール ・問われているのは保育者自身 について学び、説明、計画、実践できるようになることを目的とする。	講義 グループワーク classroomにて授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業の目的と内容について理解できる。 授業ノートに授業内容をまとめることができる。 課題を期日までに提出することができる。	PCRシートを活用する 予習：classroomの授業資料「第4回」を読み、写してくる。 復習：classroomの授業資料「第4回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
5	第5回「環境の内容と指導法」 ・領域「環境」のねらいと内容 ・幼児期における自然体験の意味 ・自然体験と保育者 について学び、説明、計画、実践できるようになることを目的とする。	講義 グループワーク classroomにて授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業の目的と内容について理解できる。 授業ノートに授業内容をまとめることができる。 課題を期日までに提出することができる。	PCRシートを活用する 予習：classroomの授業資料「第5回」を読み、写してくる。 復習：classroomの授業資料「第5回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
6	第6回「言葉の内容と指導法」 ・言葉を育むインリアル法 ・書き言葉につながる言葉遊び について ・音韻意識を育てる言葉遊びと絵本 ・文字学習のための環境づくり について学び、説明、計画、実践できるようになることを目的とする。	講義 グループワーク classroomにて授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業の目的と内容について理解できる。 授業ノートに授業内容をまとめることができる。 課題を期日までに提出することができる。	PCRシートを活用する 予習：classroomの授業資料「第6回」を読み、写してくる。 復習：classroomの授業資料「第6回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
7	第7回「環境の内容と指導法」 ・子どもにとっての「表現」を考える ・領域「表現」における音楽表現 ・領域「表現」における造形表現 ・領域「表現」における身体楽表現 について学び、説明、計画、実践できるようになることを目的とする。	講義 グループワーク classroomにて授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業の目的と内容について理解できる。 授業ノートに授業内容をまとめることができる。 課題を期日までに提出することができる。	PCRシートを活用する 予習：classroomの授業資料「第7回」を読み、写してくる。 復習：classroomの授業資料「第7回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
8	表現の内容と指導法Ⅱ ・領域「表現」における音楽表現の「ねらい」および「内容」 ・領域「表現」における造形表現「ねらい」および「内容」 ・領域「表現」における身体楽表現「ねらい」および「内容」 について学び、説明、計画、実践できるようになることを目的とする。	講義 グループワーク classroomにて授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業の目的と内容について理解できる。 授業ノートに授業内容をまとめることができる。 課題を期日までに提出することができる。	PCRシートを活用する 予習：classroomの授業資料「第8回」を読み、写してくる。 復習：classroomの授業資料「第8回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	保育実践の現状と課題(1)ー海外の保育方法の受容と展開 ・ニュージーランド、レゾジョエミアなどの海外の保育方法 ・海外の児童福祉の実態と課題について学び、説明できるようになることを目的とする。	講義 グループワーク classroomにて授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業の目的と内容について理解できる。 授業ノートに授業内容をまとめることができる。 課題を期日までに提出することができる。	PCRシートを活用する 予習：classroomの授業資料「第9回」を読み、写してくる。 復習：classroomの授業資料「第9回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
10	保育実践の現状と課題(2)ー保育形態の種類と活用法 ・日本の保育形態の種類 ・日本の保育ニーズと課題について学び、説明できるようになることを目的とする。	講義 グループワーク classroomにて授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業の目的と内容について理解できる。 授業ノートに授業内容をまとめることができる。 課題を期日までに提出することができる。	PCRシートを活用する 予習：classroomの授業資料「第10回」を読み、写してくる。 復習：classroomの授業資料「第10回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
11	保育内容の指導法(1)ー協同的な遊びの展開と援助 ・協同的な遊びの理解 ・協同的な遊びの「ねらい」と「内容」 ・協同的な遊びの環境づくりと保育者の援助について学び、説明、計画、実践できるようになることを目的とする。	講義 グループワーク classroomにて授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業の目的と内容について理解できる。 授業ノートに授業内容をまとめることができる。 課題を期日までに提出することができる。	PCRシートを活用する 予習：classroomの授業資料「第11回」を読み、写してくる。 復習：classroomの授業資料「第11回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
12	保育内容の指導法(2)ー行事の指導 園で行われる行事 園で行われる行事の「ねらい」と「内容」 園で行われる行事の環境づくりと保育者の援助について学び、説明、計画、実践できるようになることを目的とする。	講義 グループワーク classroomにて授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業の目的と内容について理解できる。 授業ノートに授業内容をまとめることができる。 課題を期日までに提出することができる。	PCRシートを活用する 予習：classroomの授業資料「第12回」を読み、写してくる。 復習：classroomの授業資料「第12回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
13	情報機器の活用と課題：情報機器の種類と課題 ・園で活用されるICTの実態と課題 ・保育に活用されるICTの実態と課題について学び、説明できるようになることを目的とする。	講義 グループワーク classroomにて授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業の目的と内容について理解できる。 授業ノートに授業内容をまとめることができる。 課題を期日までに提出することができる。	PCRシートを活用する 予習：classroomの授業資料「第13回」を読み、写してくる。 復習：classroomの授業資料「第13回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
14	小学校教育との連携ー交流活動の推進と学びの連続性の確保 ・学び連続性とは ・幼小連携の実態と課題 ・幼児連携に繋がる交流活動の実践例について学び、説明できるようになることを目的とする。	講義 グループワーク classroomにて授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業の目的と内容について理解できる。 授業ノートに授業内容をまとめることができる。 課題を期日までに提出することができる。	PCRシートを活用する 予習：classroomの授業資料「第14回」を読み、写してくる。 復習：classroomの授業資料「第14回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
15	保育者の協働体制と保育方法の改善ーチーム保育の推進と保育者の役割 ・保育における協働について ・チーム保育の実態と課題について学び、説明できるようになることを目的とする。	オンデマンド classroomにて授業資料の共有と課題のフィードバックを行う。	授業の目的と内容について理解できる。 授業ノートに授業内容をまとめることができる。 課題を期日までに提出することができる。	PCRシートを活用する 予習：classroomの授業資料「第15回」を読み、写してくる。 復習：classroomの授業資料「第15回」のノートに授業内での学びを追記し、自分なりにまとめてくる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力
					120	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力